

新規事業評価調書

事業名		高等職業技術専門学校再編整備事業
所在地		和泉市テクノステージ2丁目3番1号
事業概要	目的	中高年離職者の再就職支援、若年ものづくり技能者の養成、産業の振興を支える人材の育成、雇用労働者のキャリア形成支援等、多様化する職業能力開発ニーズに対応した職業訓練を推進するため、高等職業技術専門学校の再編整備を行う。
	内容	<p>1. 現状（南大阪地域の施設状況）</p> <p>堺校（H15.3 廃校） 場所：堺市鳳南町 敷地面積：20,196㎡、延床面積：4,468㎡ 構造：RC造2階建及びS造平屋、建築年次：昭和36年 科目：4科目〔自動車整備(3級)、エアコンシステム、溶接、建設機械整備〕</p> <p>松原校 場所：松原市上田 敷地面積：26,099㎡、延床面積：10,705㎡ 構造：RC造3階建及びS造平屋、建築年次：昭和43年・44年 科目：8科目〔NCエンジニアリング、電気施工技術、自動車整備(2級)、溶接、木工、建築、グリーンインテリア、ディスプレイ塗装〕</p> <p>2. 再編後のすがた</p> <p>○高等職業技術専門学校7校のうち、老朽化の著しい4校を2校に統合し、5校体制に再編する。</p> <p>○松原校及び堺校を統合し、南大阪校(仮称)を開設（H18年度）。</p> <p>○守口校及び東淀川校を統合し、大阪府北部に新設（H20年度以降）。芦原、東大阪、夕陽丘の各校は存続（科目の見直し等は適宜実施）。</p> <p>3. 南大阪校(仮称)の規模等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地面積 26,953.33㎡ ・延床面積 約10,000.00㎡ ・構造 本館棟 鉄筋コンクリート造 3階 実習棟 鉄筋コンクリート(一部鉄骨造)1階
	事業費	<p>約49.5億円</p> <p>< 想定内訳 ></p> <p>土地購入費 13.5億円（土地単価 49,955円/㎡）</p> <p>建築工事費 30.0億円（建築単価 約30万円/㎡）</p> <p>機器整備費 6億円</p>
	維持管理費	毎年度 25,000千円（想定）
関連事業		

上位計画等の位置づけ		○第7次大阪府職業能力開発計画（平成13年8月） ○大阪府行財政計画（案）（平成13年9月） 高等職業技術専門校の再編を行う。【H14着手】 府立高等職業技術専門校再編基本構想（平成14年12月）								
優先度		○長引く景気低迷の中、離職を余儀なくされた方々(特に中高年齢者)の早期再就職を支援することに加え、労働者の雇用不安の解消を図る必要がある。また、産業の空洞化が進む中、経済を支えるものづくり基盤技術の積極的な振興を図るとともに、産業クラスタを形成し大阪経済の活性化を図らなければならない。 ○府民の雇用不安を解消するため、雇用に結びつく職業訓練機会の提供や働く人々のキャリア形成支援、大阪のものづくりを支える若年技能労働者の育成、ハイテク技術を支える人材育成などに資するため、技術専門校の再編整備は府にとって重要かつ優先度が高い事業である。								
事業の進捗予定	事業段階ごとの進捗予定と効果	・平成15年	基本計画、基本設計							
	完成予定年	・"16年4月～	実施設計							
		・"16年10月～	杭工事							
		・"17年1月～	建築工事							
		・"18年2月	物件引渡し（機器搬入12月～3月）							
事業を巡る社会経済情勢	事業目的に関する諸状況	○ 厳しい雇用状況								
			H7	H12	H13	H14				
		有効求人倍率	大阪	0.47	0.48	0.50	0.48			
			全国	0.63	0.59	0.59	0.54			
		完全失業率	大阪	4.0	6.7	7.2	7.7			
	全国		3.2	4.7	5.0	5.4				
	○産業構造の変化（サービス化）		産業別就業者の構成比の推移 (%)		就業移動					
		S62	H4	H9	・第3次産業の流出入が活発					
	製造業	24.3	23.7	21.6	・サービス業：流入率>流出率					
	サービス業	21.4	23.4	25.4						
○応募倍率の推移		(単位：人、倍)								
	H5	H8	H12	H13	H14					
	定員	応募	定員	応募	定員	応募	定員	応募		
全体	1,460	2,893	1,350	2,612	1,220	2,803	1,260	2,543	1,260	3,894
	1.98		1.93		2.30		2.02		3.09	
うち6ヶ月	470	966	440	873	420	1,317	440	1,191	440	2,058
訓練	2.06		1.98		3.14		2.71		4.68	
地元等の協力度制	近畿職業能力開発大学校 …… 大阪府内の職業訓練体系の一施設であり、連携が図られているが、今後、より充実・強化させる。									
	関係業界団体等 …… 職場実習の受入や就職先の確保等について連携。									
	和泉市 …… 友好的(地域の活性化)。									
	堺市・松原市 …… 地元ハイテク企業とは技術交流等の連携を図る。									
	堺市・松原市 …… 了解を得ている（特に反対はない）									

事業効果の定量的分析	費用便益分析	具体的な便益内容	受益者	費用便益比	備 考
			府 民 (受講生)		
	その他の指標 (代替指標)				
事業効果の定性的分析	安全・安心	エンプロイアビリティ(雇用能力)の向上 雇用形態の変化に対応した多様な職業能力の獲得だけでなく、企業に雇用され続ける能力としてのエンプロイアビリティの向上を支援する。 技能習得・資格取得により関連職種への就職 新卒者の養成訓練、離職者の再就職支援訓練を通じ、就労を容易にする。 障害者、高齢者に配慮した施設づくり バリアフリー設計により、障害者等が安全かつ快適に施設を使用できるよう設計する。			
	活 力	南大阪地域をハイテク拠点とする産業クラスター構想を踏まえた高度な職業訓練を展開し、産業の振興を支える人材を育成する。 ○在職者に対する職業能力開発の充実・拡大を図るため、人材開発センターの併設に加え、職業評価(技能検定)制度の支援・拡大を図り、労働者の地位の向上に努める。 ○就職支援機能や相談機能を充実させ、中高年離職者の再就職を容易にする。			
	快 適 性	○即戦力として活躍 自信を持って就職できるよう、訓練期間中に企業実習等を行う。 また、企業で実際に使用されている機器類を導入し、実践力を高める。 ○外部の非常勤講師を招聘 先端分野については地元企業を中心とした第一線の技術者、産業技術総合研究所、近畿職業能力開発大学校などから講師を招聘する。 ○指導員研修の充実 高度技術分野等の適切な指導ができるよう、指導員研修を充実させる。 ○施設のアメニティ 緑化の推進や自然採光を取り入れた空間づくりを通じて快適な訓練環境を創出する。			
	そ の 他	○テクノステージ和泉で事業を展開することにより、府立産業技術総合研究所や近畿職業能力開発大学校との連携を深め訓練の高度化を図ることができる。また、産業団地の中に立地することにより、ハイテク企業との技術交流をはじめ、企業ニーズをすばやく把握することが可能となり、産業の振興を支える人材を育成することができる。 ○人材開発センターを主体に関連施設・設備の活用により、企業や事業主団体等の職業能力開発ニーズに応えることができる。 ○土地売却によって財源を確保し、財政負担を抑制する。 堺校と松原校を売却(撤去費減) 南大阪校建設費			

自然環境等への影響と対策	<p>○緑化の推進</p> <p>敷地の道路に面する部分は、道路境界から3m、区画道路境界から2mの範囲については、概ね10㎡当たり1本以上の高木を植栽し、中低木については、程度の密度で植栽を行い、緑被率30%以上を確保するよう植栽計画を行う。</p>																																								
代替案との比較検討	<p>○既存施設改修案</p> <p>昭和56年建築基準法施行令が改正され、耐震基準が大幅に改正された。松原校・堺校ともに用途地域の関係で既存不適格であるため、既存施設の改修は、同一用途・機能に限り可能であるが、RC造の場合は、柱・梁の補強、S造の場合は鉄骨の補強が必要となる。</p> <p>今回の再編整備では、多様化するニーズに対応した施設とするため、設置科目の変更を伴い、諸室の形状・用途・面積等が異なることに加え、騒音や振動、原動機の出力についての規制を受けるため、改修は不可能である。</p> <p>○現地建て替え案</p> <p>松原校・堺校ともに用途地域の関係で既存不適格である。</p> <p style="margin-left: 40px;">松原校：第1種中高層住居専用地域</p> <p style="margin-left: 40px;">堺校：第1種住居地域</p>																																								
その他特記すべき事項	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 設置予定科目 </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">分野</th> <th style="width: 35%;">科目(仮称)</th> <th style="width: 10%;">定員</th> <th style="width: 10%;">期間</th> <th style="width: 35%;">主な教科内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">環境</td> <td>空調環境技術科</td> <td>30×2</td> <td>6ヶ月</td> <td>空気調和システムの設計や機器の設置・配管及び環境科学に関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td>環境分析科</td> <td>30</td> <td>1年</td> <td>大気汚染や水質汚濁等及び騒音・振動の環境測定・分析に関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">通信</td> <td>ネットワークサービス科</td> <td>30×2</td> <td>6ヶ月</td> <td>セキュリティを含めたLAN等のネットワークシステムの保守に関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td>通信プログラミング科</td> <td>30×2</td> <td>6ヶ月</td> <td>Linux等のOS操作及び携帯コンテンツプログラムに関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td>伝送交換専攻科</td> <td>30</td> <td>1年</td> <td>電気通信設備の設計・調整・管理等に必要な伝送交換に関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">整備</td> <td>自動車整備科</td> <td>30+30</td> <td>2年</td> <td>自動車のエンジン・シャフトなどの分解・組立・検査等整備に関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td>車体整備専攻科</td> <td>30</td> <td>1年</td> <td>車両のボディ修復、フレーム修正など、車体整備に関する知識・技能</td> </tr> <tr> <td>設備保全整備科</td> <td>30</td> <td>1年</td> <td>ビル設備の保全、主として電気設備保全に関する知識・技能</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">延べ定員 360名</p>	分野	科目(仮称)	定員	期間	主な教科内容	環境	空調環境技術科	30×2	6ヶ月	空気調和システムの設計や機器の設置・配管及び環境科学に関する知識・技能	環境分析科	30	1年	大気汚染や水質汚濁等及び騒音・振動の環境測定・分析に関する知識・技能	通信	ネットワークサービス科	30×2	6ヶ月	セキュリティを含めたLAN等のネットワークシステムの保守に関する知識・技能	通信プログラミング科	30×2	6ヶ月	Linux等のOS操作及び携帯コンテンツプログラムに関する知識・技能	伝送交換専攻科	30	1年	電気通信設備の設計・調整・管理等に必要な伝送交換に関する知識・技能	整備	自動車整備科	30+30	2年	自動車のエンジン・シャフトなどの分解・組立・検査等整備に関する知識・技能	車体整備専攻科	30	1年	車両のボディ修復、フレーム修正など、車体整備に関する知識・技能	設備保全整備科	30	1年	ビル設備の保全、主として電気設備保全に関する知識・技能
分野	科目(仮称)	定員	期間	主な教科内容																																					
環境	空調環境技術科	30×2	6ヶ月	空気調和システムの設計や機器の設置・配管及び環境科学に関する知識・技能																																					
	環境分析科	30	1年	大気汚染や水質汚濁等及び騒音・振動の環境測定・分析に関する知識・技能																																					
通信	ネットワークサービス科	30×2	6ヶ月	セキュリティを含めたLAN等のネットワークシステムの保守に関する知識・技能																																					
	通信プログラミング科	30×2	6ヶ月	Linux等のOS操作及び携帯コンテンツプログラムに関する知識・技能																																					
	伝送交換専攻科	30	1年	電気通信設備の設計・調整・管理等に必要な伝送交換に関する知識・技能																																					
整備	自動車整備科	30+30	2年	自動車のエンジン・シャフトなどの分解・組立・検査等整備に関する知識・技能																																					
	車体整備専攻科	30	1年	車両のボディ修復、フレーム修正など、車体整備に関する知識・技能																																					
	設備保全整備科	30	1年	ビル設備の保全、主として電気設備保全に関する知識・技能																																					